



審査支援ソフト (JavaScript版)

特許審査第四部電子商取引 上嶋 裕樹
特許審査第一部調整課 土谷 慎吾

●はじめに

本ツールは審査を支援する情報の参照機能や分類コード変換機能をコンパクトにまとめたWebベースのツールです。土谷が各機能のアイデアを出し、上嶋がそれを実装するかたちで、本ツールは開発されました。主要機能であるFタームテーマコード／IPC変換機能は、拒絶理由通知書等に先行技術文献調査結果として調査した分野をIPCで記載する際、便利にお使いいただけます。

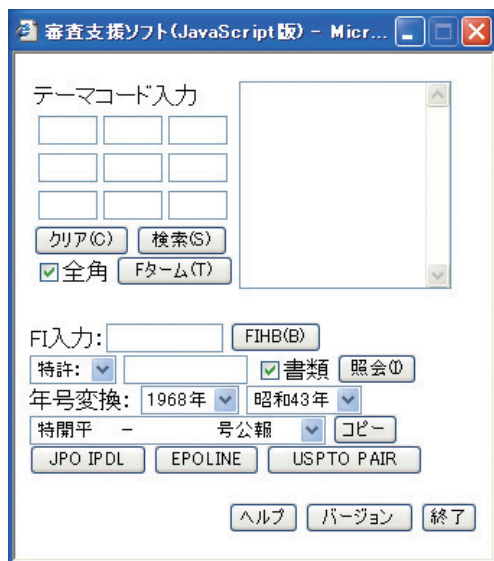


図1 審査支援ソフト (JavaScript版)

●特色

本ツールはWebベースのツールですのでブラウザで所定のWebサイトにアクセスいただくだけで使用することができ、一切のインストール作業が不要です。また、出力データがクリップボードに直接書き込まれるため、提案エディタへ簡単にペーストを行うことができます。

●起動方法

本ツールはWebブラウザから利用するソフトウェアです。ツールのホームページ <http://www.uejima-hiroki.jpo.go.jp/theme2ipc-js/> (庁内からのみアクセス可能) にブラウザでアクセスし、ページに記載された利用規約に同意のうえ、リンクをクリックしてツールを起動してください。ツールのウィンドウが開きます。

●使用データ

本ツールのFタームテーマコード／IPC変換機能は、平成20年3月現在最新のFI基本台帳 (平成19年11月26日版) (庁内共用ドライブから取得可能) と最新のIPC第8版 (2008.01) 分類表 (http://www.jpo.go.jp/shiryuu/sonota/kokusai_t/ipc8wk.htm から取得可能) を使用しております。今後も可能な限り、最新の分類データを使用するようツールをアップデートしていく予定です。

●各機能紹介

本ツールの中心となる機能はFタームテーマコード／IPC変換ですが、そのほかにも、審査をするうえで役に立つと思われる、ちょっとした機能が複数設けられています。以下では、本ツールの各機能をご紹介します。なお、各ボタンに括弧書きで表記された英字はショートカットキーを示すものです。ボタンに表記された英字のキーとALTキーを同時に押すと、該当ボタンをクリックしたことになります。

Fタームテーマコード／IPC変換

テーマコード入力欄にFタームテーマコードを入力し [検索 (S)] ボタンをクリックすると、入力したテーマコードに対応するIPCが検索されて右側のテキストエリアに表示され、そのIPCのデータがクリップボードに自

動的に書き込まれます。入力するテーマコードの英字は大文字小文字を区別しません。クリップボードに書き込まれたIPCのデータはテキストエディタ等で「貼り付け(ペースト)」を行うことができます。また、[検索(S)] ボタンをクリックしなくても、入力欄からフォーカスはずす(入力カーソルをほかに移動するなど)ことにより検索は自動的に行われます。検索は、9つの入力欄に入力されたテーマコード全てについて、入力の都度行われます。[クリア (C)] ボタンをクリックすることによりテーマコード入力欄の内容を一度に全て消すことができます。

[全角]チェックボックスにチェックを入れておきますと、クリップボードに書き込まれるデータを全角英数字にすることができます。なお、ツール上テキストエリア内の表示は常に半角英数字となりますのでご了承ください。

最新のIPC分類表に基づき、複数のIPCについてサブクラスが共通する場合、2つ目以降のサブクラス表記が省略されてまとめられ、IPC分類表上連続するIPCについては「-」記号で省略して表示されます。

Fターム表表示

[Fターム (T)] ボタンをクリックすると、テーマコード入力欄のうち左上の欄に入力したテーマコードに対応するFターム表を表示します。本機能はPMGS (パテントマップガイダンスシステム) を呼び出しています。

FIハンドブック表示

[FIHB (B)] ボタンをクリックすると、FI入力欄に入力されたFIに対応する内容についてFIハンドブックを表示します。本機能はPMGSを呼び出しています。

出願照会

特許、実用新案、意匠、商標の出願マスターや書類一覧を照会できます。特・実・意・商の種別をプルダウンメニューから選択し、その右側の入力欄に出願番号を入力して、[照会(I)] ボタンをクリックしてください。その際、[書類]チェックボックスにチェックを入れておきますと、書類一覧を照会できます。出願番号は西暦形式(YYYY-NNNNNNの形式)で入力してください。

西暦/和暦変換

西暦と和暦を相互に変換します。西暦一覧又は和暦一覧のプルダウンメニューから選択すると、選択した年に対応する年が他方に表示されます。1968年~2013年(昭和43年~平成25年)の範囲で対応しています。

特許文献番号入力テンプレート

特許文献の公開番号を入力する際に使えるテンプレートをクリップボードに書き込みます。使用したいテンプレートをプルダウンメニューから選択し、[コピー] ボタンをクリックしてください。

Webサイトリンク

審査をするうえで利用する頻度が高いと思われる次の3サイトへのリンクボタンを用意しました。各ボタンをクリックすると、ボタンに表記されたサイトにアクセスしブラウザで表示します。

- ・特許電子図書館 (<http://www.ipdl.inpit.go.jp/homepg.ipdl>)
- ・epoline® (<http://www.epoline.org/portal/public>)
- ・Public PAIR (<http://portal.uspto.gov/external/portal/pair>)

●免責事項・注意事項

本ツールは完全な動作を保証するものではありません。使用データに関しましても、できる限り最新版となるようにアップデートしていく予定ですが、古いデータのままとなる可能性もございます。これらの点に十分留意のうえ、本ツールをご使用くださいますよう、お願い致します。

本ツールの一部機能は外部システムの機能呼び出すことにより実現しております。機能呼び出し先システムの仕様変更や停止にともない一部の機能が使用不能になる場合がございますので、ご了承ください。

各機能紹介にありますように、本ツールは所定の動作に伴いクリップボードにデータを書き込みます。クリップボードにデータを書き込む際、一切警告などは行わず、既にデータが書き込まれている場合はそのデータに上書きしますので、ご注意ください。



●おわりに

本ツールは本誌の発行と同時に初リリースされる予定の、完成間もないツールです。リリースにあたり、可能な限り動作確認を行っておりますが、バグや不具合が残っている可能性があります。バグや不具合を発見されましたら、作者までご連絡いただければ幸いです。機能改善のご意見・ご要望も随時受け付けております。

また、本ツールを改造したいかた、本ツールのソースコードを基に新たなツールを作成したいかたには、ソースコードを提供する予定です。ソースコードは動作機種やブラウザ種別に依存しないJavaScriptで書かれています。ソースコードの提供を希望するかたもご連絡ください。

本ツールが皆様の業務に少しでもお役に立てれば幸いです。

●謝辞

ツールの実装方法を検討するにあたり、特技懇誌第247号で紹介された間野裕一さんの「FI簡易表示システム」を参考とさせていただきます。

本ツール開発・公開のきっかけを与えてくださり、ツールの試用・デバッグに協力して下さった特技懇編集委員の皆様に感謝致します。

profile

上嶋 裕樹(うえじま ひろき)

平成15年3月 東京大学大学院情報理工学系
研究科コンピュータ科学専攻
修士課程修了
平成15年4月 特許庁入庁(特許審査第四部電
子商取引)
平成19年4月 審査官昇任



profile

土谷 慎吾(つちやしんご)

平成13年3月 京都大学大学院工学研究科電
気工学専攻修士課程修了
平成13年4月 特許庁入庁(特許審査第四部電
話通信)
平成17年4月 審査官昇任
平成17年7月 総務課制度改正審議室(併任)
平成18年4月 総務課特許戦略企画係長(併
任)
平成19年4月 特許審査第四部電話通信審査
官
平成19年7月より現職
(調整課分類企画係長(併任))

